

2022年9月15日

当院を受診された患者さんへ

「ロボット支援腹腔鏡下胃癌手術での肝挙上法に関する研究」への協力をお願い

外科では、下記のような診療を受けた患者さんの試料・情報を用いた研究を行います。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

研究の対象：2021年3月～2023年3月31日の間に、当院において、ロボット支援下胃癌手術を受けられた方

研究期間：岐阜市民病院臨床研究審査委員会での承認日～2023年6月30日

研究目的・利用方法：

腹腔鏡下胃癌手術において、肝外側区域の適切な挙上は、視野の展開のうえで非常に重要な操作です。ロボット支援下胃癌手術において、PROLENE系とシリコンディスクを用いた安全かつ簡便な肝挙上法を開発しました。術後の肝障害を調査することで、当科で行っている肝挙上法が安全に施行できているか検討することを目的とします。

研究に用いる試料・情報の種類：

以下の項目について、診療録より取得します。これらはすべて日常診療で実施された項目です。

手術前の検査・評価項目

性別、年齢

一般身体所見：身長、体重、BMI

生化学検査：総タンパク、アルブミン、リンパ球数、プレアルブミン、AST、ALT

腫瘍所見：部位、肉眼型、cT、cN、cStage

手術での評価項目

手術時間、コンソール時間、麻酔時間、出血量

手術後の検査・評価項目

術後1日目、3日目、7日目

生化学検査：AST、ALT

術後合併症、pT、pN、pStage、術後在院日数、飲水開始日、食事開始日、予後

研究への参加辞退をご希望の場合

本研究に関して新たに患者さんに行っていただくことはありませんし、費用もかかりません。本研究の内容や研究結果等について質問等がありましたら以下の連絡先までお問い合わせください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについてご了承いただけない場合には研究対象としないので、以下の連絡先までお申し出ください。なお、本研究は、岐阜市民病院臨床研究審査委員会において審査・承認されております。また、この研究への参加をお断りになった場合にも、将来にわたって当院における診療・治療において不利益を被ることはありませんので、ご安心ください。

研究から生じる知的財産権の帰属と利益相反

研究者及び岐阜市民病院に帰属し、研究対象者には生じません。研究の結果の解釈および結果の解釈に影響を及ぼすような利益相反は存在しません。

連絡先

岐阜市民病院 外科
電話番号：058-251-1101
氏名：棚橋 利行

研究責任者

岐阜市民病院 外科
氏名：棚橋 利行

【相談窓口】

岐阜市民病院 外科
〒500-8513
岐阜県岐阜市鹿島町7丁目1番地
Tel：058-251-1101